

3 周辺機器の準備

大学での生活の中で、パソコンといっしょに使う機会の多い主な周辺機器としては、次のようなものが挙げられます。

プリンタ

レポート中心の印刷では、高性能モデルは不要です

- プリンタは、レポートを印刷して提出するときなどに必要です。大学では、担当教員によってレポートをメールやオンラインの提出システムを通じて受け付けている場合もありますが、すべてではありません。印刷したもので提出する場合がありますし、何らかの発表の中で印刷資料を配付するときもあります。また、年賀状の印刷などのプライベートな用途でもプリンタを利用することはまだまだあります。
- 最近のプリンタは写真の印刷がきれいにできる高画質プリンタがいろいろ出ていますが、こうした高画質なものほど価格が高く速度も若干遅い傾向があります。レポートなどの印刷を中心に使うのであれば高画質な印字機能は必要はありません。価格的に一番下位のモデルでも文書の印刷には十分です。それよりもレポート等を頻繁に印刷するのであれば印字速度が速いモデルのほうが印刷を待つ時間が短いという大きなメリットがあります。また印刷をすれば当然ながらインクも消費するので、インクを何色も使う高画質モデルではそれだけランニングコストもかかることになります。

スキャナ

引用は許された範囲でしか利用することはできません

- スキャナは必須ではありませんが書籍や新聞、雑誌から記事を引用したり図やグラフなどを参考に添付するときなどに便利です。最近のスキャナには付録としてOCRというソフトが添付されています。これはスキャナで読み取った書籍や記事を文字データに変換するソフトです。文字データであれば、レポート中に引用することも容易です。
- ただし、容易だからといって書籍の内容や新聞記事を勝手に改変して自分のレポートにしてしまっはけません。そうした記事にはもちろん著作権が存在しますし、引用には許された範囲内でしか利用できないルールが厳然としてありますので、しっかりと理解しておく必要があります。もちろんオンライン上の記事の引用についても同様です。
- 近年はプリンタとスキャナ、コピーが一体になった複合機と呼ばれるモデルが主流となっているので、上記2つの機能を統合したモデルを選ぶのがよいでしょう。

■ 複合機の例



デジタルカメラ等

撮影画像や動画をパソコンを使って活用できる技術を身につけましょう

- 携帯電話やスマートフォンに必ずデジタルカメラ機能がついていますが、取材や観察、記録などを目的に使うのであれば画質や撮影速度、拡張性などで単体のデジタルカメラのほうが優れた機能を有しています。
- デジタルカメラで撮影した画像は簡単にパソコンに取り込んでレポートや記録に貼り付けることができます。ただし、学生の中にはせっかくデジタルカメラもパソコンも持っていないながら、それらを相互に有機的に利用することに不慣れた学生もまだまだ多いようですので、そうした方法を一度は書籍などで身につけておくと、学生生活のいろいろな場面で活用できるでしょう。
- また、スマートフォンのデジタルカメラ画像も専用ケーブルやカードリーダーなどを介して簡単に取り込むことができるので、こちらも宝の持ち腐れにならないように活用できる技術を身につけておくとよいでしょう。
- 動画についても、近年デジタルビデオカメラの価格がかなり安くなってきました。生物の観察やスポーツの記録など動画で記録したほうが効果的なものも多くあります。動画については、それをパソコンに取り込んで処理するのは静止画と違い専用のソフトが必要となり、使いこなすにはかなり手間がかかります。しかし、これも習熟すればさまざまな場面で活躍できる機会があります。
- また、最近のスマートフォンやデジタルカメラの動画機能もかなり向上しており、簡易な動画であればこれらで十分な場合もあるでしょう。

